



# 心臓財団 季報

No.184

● 財団法人日本心臓財団 ●

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル835区-A

○ Tel 03-3201-0810 ○ Fax 03-3213-3920 ○ e-mail:info@jhf.or.jp ○ http://www.jhf.or.jp/

September 10, 2006

## 生活習慣病予防シンポジウム

日本心臓財団では、秋から冬にかけて東京と大阪の2ヵ所で、高血圧・糖尿病予防を中心とした「生活習慣病予防シンポジウム」を開催いたします。専門の先生によるわかりやすい講演と、司会にはキャスターでありヘルスケアアドバイザーでもある生島ヒロシ氏を迎えて、楽しく役に立つパネルディスカッションを予定しています。お近くの方は、ぜひご参加ください。

詳細につきましては、近日中にホームページ (<http://www.jhf.or.jp/>) やメールマガジン、朝日新聞紙上に掲載予定です。

**主催：**日本心臓財団、朝日新聞社  
**協賛：**テルモ株式会社  
**協力：**日本チェーンドラッグストア協会ほか(予定)

### ■ 東京

日時：2006年11月17日(金) 13時～16時  
 会場：ヤマハホール(東京都中央区銀座)  
 定員：約500人(入場無料)  
 講演：①肥満・高血圧は万病のもと～ちょっとした工夫で生活改善!(仮題)  
 島田和幸(自治医科大学教授)  
 ②糖尿病と高血圧が合併するリスクと大切な自己管理!(仮題)  
 河盛隆造(順天堂大学教授)  
 ③パネルディスカッション  
 司会：生島ヒロシ(キャスター)

### ■ 大阪

日時：2006年12月6日(水) 13時～16時  
 会場：大阪市中央公会堂(大阪市北区中之島)  
 定員：約800人(入場無料)  
 講演：①肥満・高血圧は万病のもと～ちょっとした工夫で生活改善!(仮題)  
 荻原俊男(大阪大学教授)  
 ②糖尿病と高血圧が合併するリスクと大切な自己管理!(仮題)  
 松澤佑次(住友病院院長)  
 ③パネルディスカッション  
 司会：生島ヒロシ(キャスター)

## 第2回心臓病患者家族のためのAED・心肺蘇生法全体講習会

東京都CCU連絡協議会では、心臓病を持つ患者さんとその家族のためにAEDの使い方と心肺蘇生法の講習会を実施いたします。参加ご希望の方は、東京都CCU連絡協議会事務局までお問い合わせください。

日時：2006年10月6日(金) 14時～17時  
 会場：日本武道館(東京都千代田区)  
 連絡先：東京都CCU連絡協議会事務局  
 日本医科大学付属病院第一内科 高山守正、吉田伸子  
 TEL: 03-3822-2131 FAX: 03-5685-0987  
<http://www.ccunet-tokyo.jp> E-mail:ccunet@nms.ac.jp

## 2006年 ハートの日・健康フェア ～東京駅八重洲地下街

8月10日が8・10(ハート)と読めることから、1985年に日本心臓財団ではこの日を「健康ハートの日」と定め、心臓病予防の啓発のために、毎年さまざまなイベントを行ってきました。

近年は、東京では8月10日に近い日曜日に東京駅八重洲地下街で、豊橋では8月10日にホテル日航豊橋で、鹿児島では8月10日の週を「健康ハート旬間」として山形屋デパートや鹿児島東急ホテルで、毎年恒例の健康相談などのイベントを継続して行っています。

日本心臓財団事務局員も総出で8月6日の八重洲地下街で行われた「2006年ハートの日・健康フェア」にスタッフとして参加しましたので、その模様を報告させていただきます。

八重洲地下街でのこのイベントも、本年度4回目になり、昨年もいらした方などもたくさん来ていただき、「毎年楽しみにしています」、「来年もまた来ます」と言った励ましの声をかけてくださいました。

この健康フェアでは、血圧、体脂肪などのほか、血管推定年齢や携帯型心電計による心電図検査、さらにはPWV(脈波伝搬速度)とABI(足関節/上腕血圧比)を用いた動脈硬化度の検査も体験できます。そして、その結果をもとに、循環器の専門医にいろいろとアドバイスを聞くことができます。さらには、ご自分の病

気でわからないことや服薬している薬についても、丁寧にアドバイスをしていただくことができるので、ご来場いただいた皆さんは、本当に満足した顔で帰って行かれます。スタッフとしても嬉しい限りです。

今回も、ご来場された皆さまにアンケートをお願いしました。300名以上の方々のうち、64名の方からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。予想外だったのは、通りすがりに寄られた人が半数以上いらしたことで、休日の八重洲地下街は普段に比べ人通りはさほど多くなく、また旅行など目的に向かって急ぐ人が多いと思われる中、このようなイベントに興味を持って立ち寄ってくださったことは大きな喜びです。また、半数の方が日本心臓財団を初めて知ったと書かれており、多くの人に当財団を知っていただけたこともよかったです。

このようなイベントを毎年開催することができるのは、休日にもかかわらず二つ返事で引き受けていただき、一日中熱心にアドバイスいただいた先生方と、検査器機の提供だけでなくスタッフとしてご協力いただいた協力企業の皆さま、活気あふれる場所を貸していただいた八重洲地下街の皆さまのおかげです。そして暑い中、足を運んでくださいましたご来場の皆さまに、深く感謝申し上げます。

**主催：**日本心臓財団

**アドバイザー：**大川眞一郎(霞が関ビル診療所所長)  
(敬称略) 上松瀬勝男(日本大学客員教授)

杉本 恒明(関東中央病院名誉院長)

羽田 勝征(榊原記念クリニック)

細田 瑛一(榊原記念病院最高顧問)

**協力：**オムロン コーリン株式会社

オムロン ヘルスケア株式会社

カリフォルニアくるみ協会

フクダ電子株式会社



## 世界ハートの日

2006年ワールド・ハート・デー あなたの心臓 若さを保っていますか

8月10日は日本のハートの日ですが、世界のハートの日は9月の最終日曜日と定められています。増加する心臓病を予防することは世界の課題であり、世界心臓連合が加盟国に呼びかけ、2000年より地球規模のキャンペーンを行っています。

わが国でも日本心臓財団が中心となり、去年はプレス・セミナーや腹囲測定メジャーの街頭配布などを行いました。

今年の世界ハートの日のテーマは、How young is your heart? 「あなたの心臓 若さを保っていますか」です。心臓の若さを保つためには、健康的な食事と運動、そしてタバコを吸わないことが重要です。さらに厚生労働省が5月に発表した平成16年国民健康・栄養調査によれば、わが国の40歳以上の男性の2人に1人、女性の5人に1人がメタボリックシンドロームもしくは予備軍であることが明らかになりました。

そこで当財団では、去年に引き続きさまざまなメタボリックシンドローム予防啓発活動を行う予定です。

### プレスセミナー (メディア対象)

#### 「メタボリックシンドローム、これからどうする！」

主催：日本心臓財団、世界心臓連合  
 日時：9月11日(月) 13時30分～15時30分  
 会場：銀座フェニックスプラザ  
 講演内容(予定)：

- エクササイズ：汗をかいても疲れない  
 佐藤 祐造 (愛知学院大学健康科学科教授)
- 日本食を見直そう：日系米人からの警鐘  
 上島 弘嗣 (滋賀医科大学福祉保健医学教授)

### 「世界ハートの日」記念市民シンポジウム

主催：日本心臓財団、世界心臓連合、朝日新聞社、NPO法人疾患啓発推進センター  
 日時：9月21日(木) 15時～17時30分  
 会場：銀座プロッサム(東京都中央区銀座2-15-6)  
 講演内容：

- 心臓病予防に効く朝の血圧測定  
 桑島 巖 (東京都老人医療センター副院長)

生活習慣病予防に効くウォーキング法  
 田中宏暁 (福岡大学スポーツ科学部教授)

パネルディスカッション

ゲスト：田尾安志 (前東北楽天ゴールデンイーグルス監督)

### 「世界ハートの日」日本心臓病学会市民公開講座

主催：日本心臓財団、世界心臓連合、日本心臓病学会  
 日時：9月24日(日) 13時～15時  
 会場：鹿児島市民文化ホール  
 講演内容：

座長：鄭 忠和 (鹿児島大学大学院教授)  
 篠山 重威 (日本心臓財団常任理事)

「心臓病にならないための食事」  
 立川 俱子 (鹿児島県栄養士会会長)

「心臓病にならないための入浴」  
 田中 信行 (鹿児島大学名誉教授)

「心臓病にならないための運動」  
 谷口 興一 (群馬県立心臓血管センター総長)

「心臓病にならないための禁煙」  
 飯田 真美 (岐阜女子大学大学院教授)

各会場では、「世界ハートの日」パンフレットと腹囲測定メジャーを配布する予定です。申込等の詳細は、当財団ホームページをご覧ください。

そのほか、フクダ電子アリーナでのパンフレット・メジャー等の配布や、メタボリックシンドローム撲滅委員会主催のイベントでのパンフレットとメジャーの配布などを予定しています。ぜひご参加ください。

協力：アストラゼネカ株式会社  
 オムロンヘルスケア株式会社  
 サノフィ・アベンティス株式会社  
 ジェフユナイテッド市原・千葉  
 バイエル薬品株式会社  
 フクダ電子株式会社  
 フクダ電子アリーナ



## ご支援ありがとうございます

本年度も賛助会員としてご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。

(敬称略：2006年5月～8月)

青柳 成明	大国 真彦	唐澤 祥人	小須賀健一	千田 彰一	丹羽 明博	福田孝太郎	八木 洋
秋田 泰司	大島 文雄	河合 忠一	児玉 和久	高田 重男	野村 雅則	藤田 正俊	矢崎 義雄
足達 寿	大槻 俊輔	川崎 富作	後藤 紘司	田上 慶子	橋場 邦武	藤原 久義	安井 健二
新 博次	大村外志隆	川田 志明	後藤 又三	高本 眞一	篠野 脩一	細田 瑳一	安井 昭二
安孫子 保	大和田憲司	川田 治義	小林 祥泰	高山 守正	羽野 卓三	細野 清士	泰江 弘文
阿部 圭志	岡島 光治	川名 正敏	小柳 仁	武内 敦郎	馬場源一郎	松井 哲郎	矢永 尚士
有田 眞	岡田幾太郎	河村慧四郎	犀川 哲典	竹下 彰	馬場 俊六	松浦 秀夫	柳瀬 義男
有馬 久富	岡田 了三	上松瀬勝男	斎藤 能彦	武田 信彬	早川 弘一	松浦雄一郎	山口 巖
飯村 攻	岡本 登	菊田 和子	坂本 三哉	田中 繁道	林 輝美	松尾 裕英	山口 武典
池田 孝之	小川 聡	菊池健次郎	佐藤 和子	田中 弘允	林 博史	松岡 博昭	山下 武志
石井 當男	小川 勝	岸田 浩	佐藤 友英	田中 元直	早野 元信	松澤 佑次	山科 章
和泉 徹	荻野 和郎	北畠 顕	佐波 正一	谷口 興一	原岡 昭一	松田 暉	山村 憲
市川 悦	荻原 俊男	木之下正彦	澤井 廣量	塚本 宏	原田久美子	松永 正人	山本 章
一色 高明	奥村 謙	木原 康樹	志立 託爾	辻 幸臣	半田俊之介	馬淵 宏	横出 正之
伊藤 貞嘉	奥村 健二	木村 和雄	柴田仁太郎	堤 健	比江嶋一昌	三浦 傳	和田 晃
伊藤 隆之	小澤 高將	木村玄次郎	島本 和明	土居 義典	東 あかね	三迺 信一	渡辺 滋
井上 博	小澤 利男	久家 英子	嶋本 喬	道場 信孝	東崎喜代乃	宮崎 治浪	渡辺 務
今井 潤	小野寺庚午	楠岡 英雄	下川 宏明	戸嶋 裕徳	菱田 仁士	宮下 英夫	渡部 良夫
岩 喬	尾前 照雄	楠川 禮造	下村 克朗	友池 仁暢	日野原重明	村田 和彦	
上田 一雄	尾本 良三	久保田 徹	白土 邦男	豊嶋 英明	平井 忠和	村田 光延	他匿名12名
打田 俊司	鍵山俊太郎	栗原 敏	杉澤 和美	永井 良三	平岡 昌和	村山 正博	
梅村 敏	梶原 長雄	甲谷 哲郎	杉本 恒明	長澤 一成	平盛 勝彦	室原 豊明	
江藤 胤尚	片見 初江	小見山延子	鈴木源次郎	中野 赳	日和田邦男	望月 茂	
遠藤 勝男	勝村 達喜	桑島 巖	鈴木 常雄	仲村 英一	福慶 逸郎	望月 正武	
大内 尉義	加藤 逸夫	古賀 義則	鈴木 典夫	西川 章	福田 恵一	本宮 武司	
大川眞一郎	加藤 正明	小島 浩	須磨 幸蔵	仁村 泰治	福田 圭介	八木 繁	

### 当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。(2006年2月10日～2005年8月28日)

株式会社アクセル 様	東京都千代田区	2,200,000円
益子 次男 様	茨城県水戸市	10,000円
宮本 昭子 様	東京都町田市	10,000円
亀井 豊子 様	茨城県鉾田市	100,000円
池田 知子 様	茨城県水戸市	50,000円
由井 英 様	東京都渋谷区	10,000円
株式会社東横イン 様	東京都大田区	200,000円
福島 百合子 様	茨城県水戸市	20,000円
村上 勝彦 様	東京都北区	8,000円
三菱マテリアル株式会社 様	東京都千代田区	2,000,000円
シガヨシアキ 様		1,000円
佐川 清 様	茨城県常陸太田市	10,000円
藤井 裕介、Nola 様	愛知県一宮市	10,000円
鎌田 信夫 様	福島県いわき市	12,400円
匿名		100,000円
匿名		10,000円
匿名		300,000円
その他切手の寄付2件		8,800円

### 役員人事

平成18年6月5日より櫻井秀也氏に代わって今村聡氏(日本医師会常任理事)が理事に、植松治雄氏に代わって唐澤祥人氏(日本医師会会長)が顧問にそれぞれ就任されました。

### 心臓財団からのお願い ～ご寄付ならびに賛助会にご加入～

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられています。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。

ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられています。

賛助会は日本心臓財団の目的に賛同し、その働きを支援する方々、法人によって構成されています。賛助会費は、個人の場合、年額1万円、法人の場合は5万円で何口でも差し支えありません。

ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

郵便振替口座 00140-3-173597  
宛て先 財団法人日本心臓財団